

牧之原市部活動基本方針 参考資料

平成30年3月に、スポーツ庁より出された、「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」では、生徒にとって望ましいスポーツ環境を構築する観点に立ち、地域、学校、競技種目等に
応じた多様な形で最適に実施されることをめざし、以下3点の視点を示しました。

- ・生徒がスポーツを楽しむことで運動習慣の確立等を図り、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成する。
- ・生徒の自主的、自発的な参加により学校教育の一環として教育課程との関連を図り、合理的かつ効率的・効果的に取り組む。
- ・市教育委員会や学校は持続可能な運動部活動のあり方を検討し、速やかに改革に取り組む。

牧之原市では、こうした国からの要請を受け、学校、保護者の代表、行政が部活動のあり方について検討し、別紙のとおり基本方針を策定しました。

地域や保護者の皆様にも、本市の部活動基本方針をご理解いただき、今後の部活動運営にご協力をお願いします。

コラム 環境の工夫で成果を残した 静岡聖光学院 ラグビー部

聖光学院高校ラグビー部の状況

- ・スポーツ推薦枠無し ・練習は週に3日、一日の練習時間は60分
- ・グラウンドはフルコートの4分の1でナイター施設なし
常識的に考えて花園出場（全国大会出場）は不可能に近い。



常識に一切縛られない取組を通して3年で花園出場を達成

- ◎組織の空席になっている「立ち位置」を探し、個々に当てはめる。（特長を見つけ、発揮させる）
- ◎能力ではなく発想で勝負する。
 - ・60分で全員がぶっ倒れるような密度の濃い練習にする。
 - ・練習を有効にするために、練習のポイント等を理解する。
 - ・どうしたら特長をいかした戦術となるか考慮する。
 - ・常に実践をイメージした練習に取り組む。
- ◎反転させた言葉に言い換える。
 - ・練習が日本一短いチーム⇒練習外の時間が日本一長いチーム
※自分たちだけにできることがあるかもしれない。
- ◎目標設定シートの作成と「計画→実行→検証」のサイクル
これらの取組を生徒とともに指導者が追い求め、3年で花園への出場するチームにまで成長。
聖光学院ラグビー部は、今後の牧之原市における部活動のあり方の参考になるはずです。

